

ぼうさい探検隊マップコンクール表彰式を開催

～一関市の中里放課後子ども教室の作品がぼうさい探検隊賞（日本損害保険協会賞）を受賞～

日本損害保険協会東北支部岩手損保会（会長：石戸 保光・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社岩手支店長）では、この度、「ぼうさい探検隊マップコンクール」でぼうさい探検隊賞（日本損害保険協会賞）を受賞した中里放課後子ども教室に対し、表彰式を行いました。

日本損害保険協会では、子どもの安全教育の推進のため「ぼうさい探検隊マップコンクール」を開催しており、第20回となる今年度は、全国の小学校、子ども会、児童館、少年消防団など658団体から8,904人が参加し、1,708作品が寄せられました。

入賞の1つである「ぼうさい探検隊賞（日本損害保険協会賞）」を受賞した一関市の中里放課後子ども教室の作品は、地すべりが起こるメカニズムや災害対策の施設についてしっかり学習している点や、学校内で避難すべき場所と避難すべきでない場所を明確にし、気づいたことを「私たちからの要望」としてまとめている点などが評価されました。

2月28日に中里小学校で行われた表彰式では、石戸会長から子どもたちに賞状と副賞等が贈られるとともに、「今回皆さんが学んだことを、家族や地域の方たちに伝え、皆さんが、この地域の人たちをひっぱっていき存在になってもらいたい」とのコメントがありました。

当日は、岩手日報、岩手日日新聞および地元ケーブルテレビの取材がありました。



左：中里放課後子ども教室の作品
左下：石戸会長からの贈呈
右下：児童との記念撮影



以上